

仕様書

件名：令和7年度 がん検診業務

1. 一般共通事項

1. 1 概要

本仕様書は、宮城県岩沼市（以下「本市」という。）において健康増進法に基づく胃がん検診（胃部エックス線検査）、大腸がん検診及び乳がん検診（以下「本業務」という。）に関する仕様を示す。

1. 2 適用

本仕様書は、本業務に適用する。なお、本仕様書に規定されていない事項については、監督職員と協議のうえ、当該協議結果を本業務に反映させること。

1. 3 履行場所

岩沼市保健センター（所在地：宮城県岩沼市桜二丁目8番30号）

岩沼市勤労者活動センター（所在地：宮城県岩沼市三色吉字松150番地の1）

（勤労者活動センターでの実施は乳がん検診のみ）

1. 4 履行期間

自 契約締結日の翌日

至 令和8年3月31日

2. 一般事項

2. 1 一般事項

- （1）本業務の着手に先立ち、健康増進法、がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針並びにがん検診の精度管理項目を十分に理解したうえで着手する。
- （2）本仕様書に規定する事項は、別に定めがある場合を除き、受託者の責任において履行する。また、本仕様書に規定のない事項であっても、履行上、当然実施すべき事項については受託者の負担において実施する。
- （3）すべての契約図書は、相互に補完する。ただし、契約図書間に相違がある場合の優先順位は、次の（a）から（b）の順番とするが、あらかじめ監督職員と協議のうえ解釈する。
 - （a）本仕様書
 - （b）契約書

2. 2 用語の定義

本仕様書において用いる用語の定義は次による。

- (1)「監督職員」とは、契約の適正な履行を確保するために必要な監督を行う者をいう。
- (2)「検査」とは、契約書に規定する完了検査をいい、本業務の完了の確認又は支払いの請求に関わる本業務の終了の確認をするために、契約書に規定する検査職員が行う検査をいう。

2. 3 受託者の負担の範囲

- (1) 本業務の実施に必要な電気、水道等の使用に係る費用については、無償とする。
ただし、本市役所庁舎又は本市管理の公共施設外における本業務に必要な電気、水道等の使用に係る費用については、受託者の負担とする。
- (2) 本業務に必要な医療機器及び設備等の資機材は、受託者の負担とする。
- (3) 本業務に必要な消耗部品、材料等は、受託者の負担とする。
ただし、本市から支給するものは除く。

2. 4 関係法令等の遵守

本業務の実施にあたり、適用を受ける関係法令等を遵守し本業務の円滑な遂行を図るものとする。なお、これらに必要な届出がある場合には、監督職員と協議のうえ受託者にて処理を行うこと。

2. 5 業務実施計画書

業務責任者は、本業務の実施に先立ち本業務の詳細について監督職員と打ち合わせを行い、その結果に基づいた実施要領、実施体制、緊急連絡体制表等の様式、その他監督職員の指示する書類、並びに業務責任者等の資格を証する書類を取りまとめた業務実施計画書を2部（内1部返却用）提出し、監督職員の承諾を受けること。

2. 6 貸与資料

受託者等は、本市が所有する図面、取扱説明書等を使用することができる。ただし、本業務終了後は原状に復することとし、複写を要する場合には事前に監督職員と協議のうえ、監督職員の指示に従うこと。

2. 7 業務管理

- (1) 受託者等は、監督職員から安全に関する情報・指示があった場合には遅滞なく業務関係者に周知し、安全を図ること。

(2) 受託者等及び業務関係者は、本業務において障害や安全上の問題等が発生した場合には遅滞なく監督職員に報告し、必要に応じて監督職員と協力し状況調査や原因究明及び適切な措置と再発防止策を実施すること。

(3) 受託者等及び業務関係者は、本業務において安全上問題のある箇所等、安全に関する情報を積極的に収集し、監督職員に書面をもって報告すること。

2. 8 服装等

業務関係者は、本市役所庁舎内又は公共の場で本業務を履行する場合は、身分を明らかにするため身分証明書を携帯し、名札又は腕章等を着用して行うこと。なお、身分証明書及び名札又は腕章等の形式は、あらかじめ業務実施計画書に記載し、形式に変更があった場合は、速やかに監督職員に通知すること。

2. 9 関連業務

本市が実施する業務であって、本業務に密接に関連するものについては、監督職員の指示に従い、互いの工程進捗に支障のないように努めること。

2. 10 設備の重要度

本市における全ての設備は、市民への行政サービスに極めて重要な役割を果たしており、各設備の障害はその運用及び市民の日常生活に支障を与える可能性がある。このことから設備の重要性を十分認識するとともに、本業務の実施に際して運用に重大な影響を及ぼすことがないよう履行方法には、十分な注意を払うとともに障害に備えた体制で業務の実施に当たらなければならない。また、本業務の実施に際しこれら設備の運用に支障を来すおそれのある場合は、あらかじめ監督職員に連絡しその指示に従うこと。

2. 11 施設の賠償責任

受託者等及び業務関係者は、各設備又はその他の施設等を故意又は過失によって、破損・汚損若しくは滅失してはならない。万一これらを破損・汚損若しくは滅失した場合は、その旨を速やかに監督職員に報告するとともに、受託者の負担において修復又は賠償すること。

2. 12 秘密の保持

受託者等及び業務関係者は、本業務により知り得たすべての事柄について、本業務履行中及び本業務完了後においてもこれを他に漏らしてはならない。

2. 13 契約金額の算定方法

本業務は、別紙「令和7年度 がん検診業務 業務費内訳書（以下「業務費内訳書」という。）」に記載のある項目毎の単価契約とする。

2. 1 4 契約代金の支払い条件

- (1) 本業務における契約代金の支払いは、業務完了後に一括で支払うものとする。
- (2) 請求書は検診毎に分けて記載し、内訳は【別表】に示した区分毎に記載すること。
また、請求額の計上については、各項目単価に実施人数を乗じた額の合計金額から【別表】に示す自己負担金の徴収分を差し引いた金額で請求すること。併せて、本市が発行する令和7年度がん検診クーポン券（以下「クーポン券」という。）を使用した受診分についてはクーポン券の金額（自己負担金の額が500円未満の場合はその額）を加算した金額で請求すること。
- (3) 検診データ作成の支払いについては、各検診の対象者数に単価を乗じた額を(2)の請求書に含めて請求すること。
- (4) 受託者は検査職員による検査合格の後、適切な請求書を提出すること。なお、当該請求書を受領した日から30日以内に支払うものとする。

3. 業務内容

3. 1 業務の目的

本業務の目的は、健康増進法に基づく胃がん検診（胃部エックス線検査）、大腸がん検診及び乳がん検診を実施し、市民の健康の保持、増進に資することにある。

3. 2 業務の実施日等

(1) 検診の実施日及び会場

①胃がん検診

施設名	実施日
岩沼市保健センター	<令和7年10月> 6日～11日、14日～17日、19日～21日 <令和8年2月> 13日、14日

②大腸がん検診

施設名	実施日
岩沼市保健センター	<令和7年10月> 6日～11日、14日～17日、19日～21日

③乳がん検診

施設名	実施日
岩沼市保健センター	<令和7年12月> 1日、2日、5日、6日、8日～12日、 15日～17日 <令和8年2月> 19日～21日
岩沼市勤労者活動センター	<令和7年12月> 3日、4日

(2) 受付時間

受付時間は次のとおりとする。なお、受付開始前及び検診終了後、30分～1時間程度の準備時間及び撤去時間を設ける。施設の利用状況により、時間調整が必要な場合は都度協議の上決定する。

<胃がん検診及び大腸がん検診>

7:30～10:30

<乳がん検診>

9:00～11:00、13:00～13:30

(3) 日程変更

災害その他の事由により日程等の変更が必要な場合は、別途協議の上決定する。

3. 3 有資格者の選任

本業務の履行に当たり、がん検診に習熟した検診担当医及び検診担当臨床検査技師等が確保されていること、かつ、その者が検診を実施すること。

3. 4 業務の概要

(1) 業務対象

対象者は次のとおりとする。ただし、年齢は令和8年4月1日時点の年齢とする。

検診名	対象者	受診者数（見込み）
胃がん検診	岩沼市に住所を有する40歳以上の者 （令和7年度の胃内視鏡検診申込者を除く）	2,800人
大腸がん検診	岩沼市に住所を有する35歳以上の者	5,000人
乳がん検診	岩沼市に住所を有する35歳以上の女性 （41歳以上の前年度受診者を除く）	2,500人

(2) 業務内容

①各検診共通

- ・各検診業務の実施
- ・行政区毎の日程調整
- ・会場レイアウトの作成
- ・各検診における受付から終了までの業務
(検査機器類・会場の表示物の配置及び撤収、使用箇所の現状復旧・清掃等、会場設営及び撤去に関する一切の業務、その他事業実施に必要な準備等。)
- ・検診受付時に、自己負担金を徴収する。また、クーポン券を持参した受診者に対し、自己負担金から500円を差し引いた額を徴収し、クーポン券を受領する。(自己負担金の額が500円未満の場合、差額は返金しない。)
- ・受領したクーポン券、生活保護受給証明書等(A4サイズ)の提出
- ・検診日報の提出
- ・その他、各検診の円滑な実施に必要な事項(検診内容・注意事項の説明、帳票記入補助及び説明、受診者の誘導、場内整理業務含む。)
- ・受診者への検査結果通知及び検査結果報告の作成
- ・精密検査の実施及び受診状況、検査結果の把握(ただし、精密検査に係る費用は受診者の全額自己負担とする。)
- ・精密検査未受診者への受診勧奨と治療への誘導(市と連携して行う。)
- ・検診データ(XML形式、CSV形式)をCD-R等の電子媒体にて作成(ただし、国の指針に基づく者を対象とする。)
- ・個人情報の取扱いについては、別記「個人情報取扱特記事項」を遵守すること。
- ・上記以外の内容については、別途協議して定めるものとする。

②胃がん検診

- ・移動検診車の手配、設営等検査を実施する上で必要な準備。
- ・問診、間接X線撮影(100mmのフィルムを用いて最低8枚撮影)

③大腸がん検診

- ・検査器具、日程表、通知文書の封入封緘作業及び成果物の納品。
- ・問診、免疫便潜血検査(2日法)

④乳がん検診

- ・移動検診車の手配、設営等検査を実施する上で必要な準備。
- ・超音波検診(35～39歳)
- ・マンモグラフィ2方向(40歳及び41歳～64歳の前年度未受診者)
- ・マンモグラフィ1方向(65歳以上の前年度未受診者)

4. 報告書類等

4. 1 提出書類

提出書類については、下表による。

番号	書類名	提出時期	書類の内容
1	業務実施計画書	契約締結後 14日以内	業務に伴う実施計画、要領及び緊急時における処理等を取りまとめたもの
2	議事録等	随時	業務打合せの際の議事録
3	事故等報告書	当日又は速やかに	事故又は障害等が発生した場合の発生箇所、原因等について取りまとめたもの
4	業務報告書	監督職員の指示による	本業務の実施状況を取りまとめたもの
5	その他監督職員が指示するもの		

4. 2 成果物

- ・大腸がん検診申込者への送付物(封入封緘の上、納品書を添付して納品すること。)
- ・検診結果データ(XML形式及びCSV形式を各検診終了後、検診毎に分けて納品すること。)

5. 検査

本業務の検査は、本仕様書及び契約書の定めるところにより行う。なお、受託者は検査に先立ち、前記4.に規定する報告書類のほか、検査職員又は監督職員が検査のため提出を求める本業務の成果を示す書類を用意する。

【別表】 各検診等の内容、自己負担金及びクーポン券金額

胃がん検診			
検査内容	対象者	自己負担金額	クーポン券金額
問診、間接X線撮影 (100mmフィルムを用いて最低8枚撮影)	40歳～74歳 (クーポン券使用)	1,500円	500円
	40歳～74歳	1,500円	—
	75歳(クーポン券使用)	500円	500円
	75歳	500円	—
	75歳以上	500円	—
	生活保護世帯及び中国残留邦人等の支援給付の受給者	0円	—

大腸がん検診			
検査内容	対象者	自己負担金額	クーポン券金額
免疫便潜血検査 (2日法)	35歳～74歳 (クーポン券使用)	500円	500円
	35歳～74歳	500円	—
	75歳(クーポン券使用)	200円	200円
	75歳以上	200円	—
検査容器	35歳以上	0円	—

乳がん検診			
検査内容	対象者	自己負担金額	クーポン券金額
超音波検診	35歳～39歳	2,000円	—
	生活保護世帯及び中国残留邦人等の支援給付の受給者	0円	—
マンモグラフィ 2方向	40歳(初回検診対象)	0円	—
	41歳～64歳前年度未受診者(クーポン券使用)	2,500円	500円
	41歳～64歳前年度未受診者	2,500円	—
	生活保護世帯及び中国残留邦人等の支援給付の受給者	0円	—

マンモグラフィ 1 方向	6 5 歳～7 4 歳前年度 未受診者(クーポン券使用)	1, 5 0 0 円	5 0 0 円
	6 5 歳～7 4 歳前年度 未受診者	1, 5 0 0 円	—
	7 5 歳前年度未受診者 (クーポン券使用)	5 0 0 円	5 0 0 円
	7 5 歳以上前年度未受診者	5 0 0 円	—
	生活保護世帯及び中国残留邦 人等の支援給付の受給者	0 円	—

検診データ作成			
内容	対象者	自己負担金額	クーポン券金額
国の指針に基づく X ML 形式の検診結果 データ作成	各検診の受診者 (国の指針に基づく者)	0 円	—